

藤前干潟（干潟部及びその周辺にある概ね水深 10m以浅の水域）

- ・藤前干潟は、伊勢湾に流れ込む庄内川、新川、日光川の河口に広がる砂・泥から成る干潟を含む区域で、庄内川河口干潟、新川河口干潟及び藤前地先干潟の3つの干潟に分けられる。
- ・魚介類の生態特性及び地理条件等からみて、スズキの生育場としての価値が高いと考えられる。
- ・当該水域は貧酸素水塊の影響を受ける水域であるため、当該水域のうち貧酸素水塊の影響をほとんど受けないと考えられる概ね水深 10m以浅の海域を特別域（案）とした。

木曾川河口付近（干潟部及びその周辺にある概ね水深 10m以浅の水域）

- ・長島沖人工干潟と城南沖人工干潟、員弁川河口及び朝明川河口からなる。
- ・魚介類の利用状況からみて、スズキ、イシガレイ、マコガレイ、ヒラメ、シロギスを主とする魚類及びハマグリを主とする貝類の産卵場・生育場としての価値が高いと考えられる。
- ・当該水域は貧酸素水塊の影響を受ける水域であるため、当該水域のうち貧酸素水塊の影響をほとんど受けないと考えられる概ね水深 10m以浅の海域を特別域（案）とした。

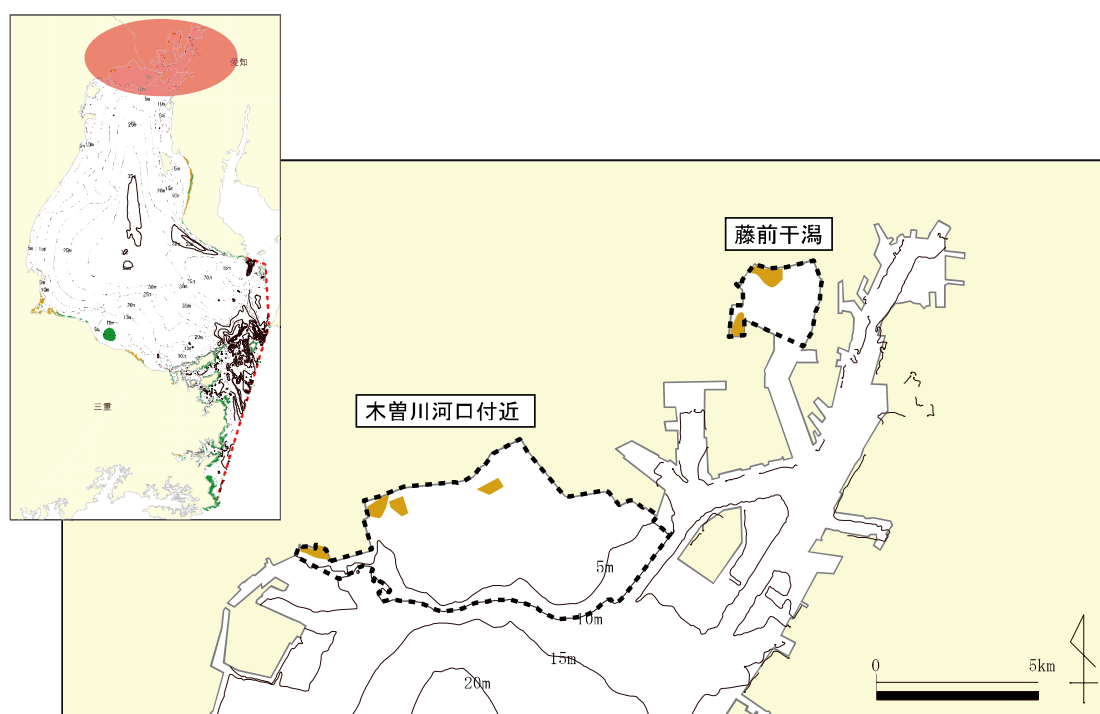


図 4-4 藤前干潟及び木曾川河口付近の特別域（案）

鈴鹿・津地先の浅場

- ・磯津漁港から御殿場海水浴場にかけての海岸線に広がる砂浜域からなる。
- ・魚介類の利用状況からみて、イシガレイ、マコガレイを主とする魚類の産卵場・生育場、ガザミを主とする甲殻類の産卵場、アサリ、バカガイを主とする貝類の産卵、生育場としての価値が高いと考えられる。
- ・当該水域は貧酸素水塊の影響を受ける水域であるため、当該水域のうち貧酸素水塊の影響をほとんど受けないと考えられる概ね水深10m以浅の海域を特別域（案）とした。

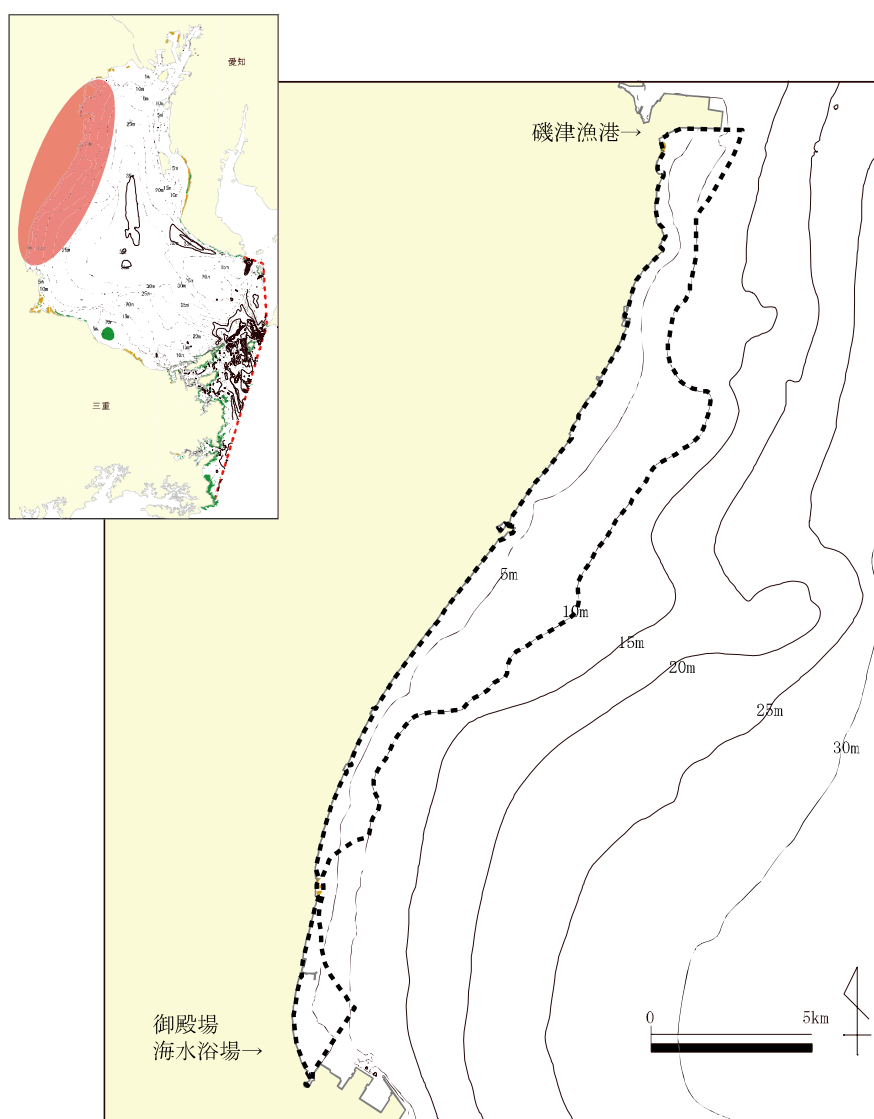


図 4-5 鈴鹿・津地先の浅場の特別域（案）